

# JR信越本線安中・磯部駅間の 新駅構想周辺 まちづくり検討調査

JR信越本線安中・磯部駅間において、新駅構想を進めています。  
この冊子は、新駅構想周辺の概況と皆様の意向をまとめたものです。



2024年度  
安中市 まちづくり部 都市計画課





# 1 新駅構想の位置

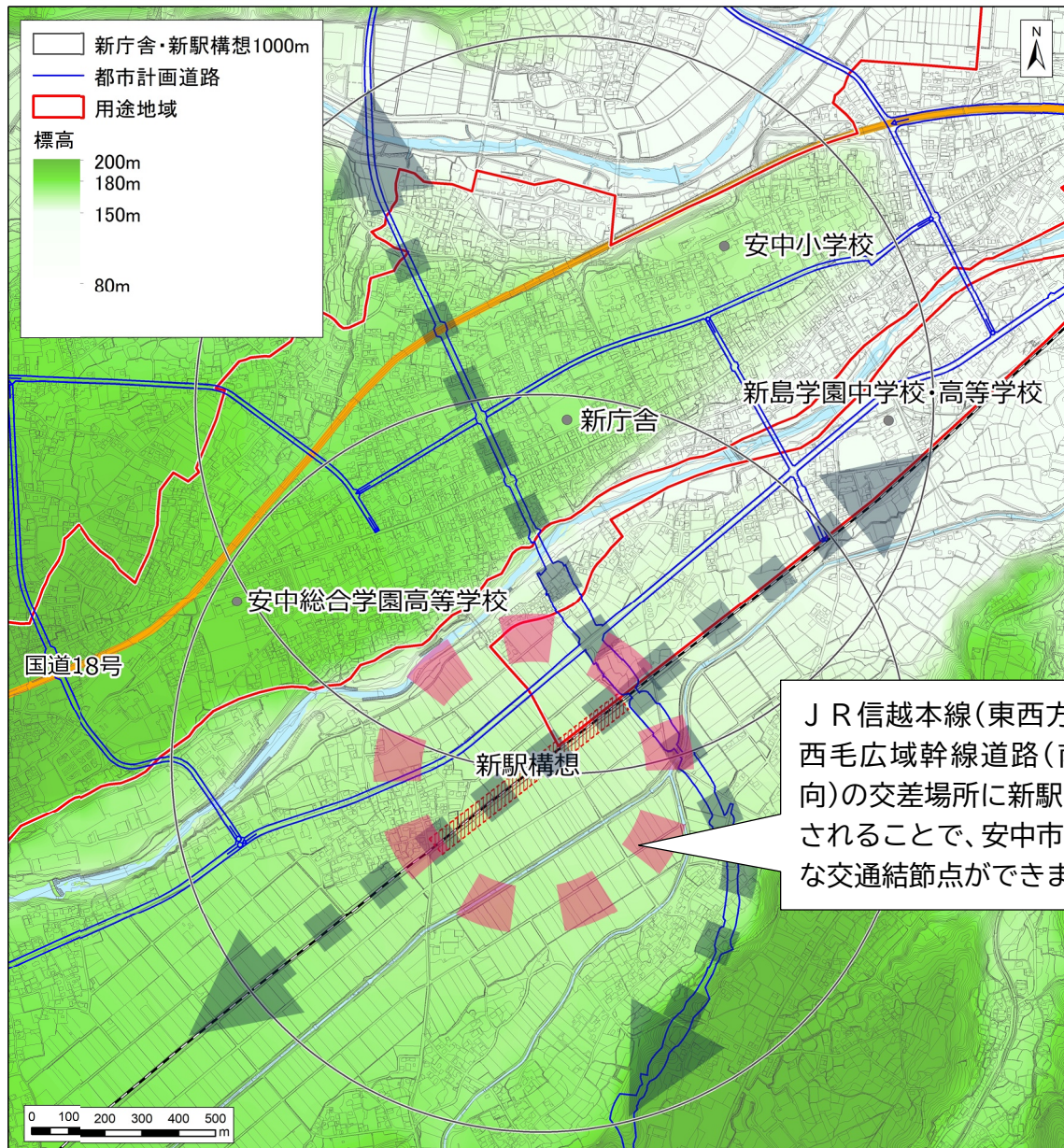
新駅構想は、安中駅から約3km、磯部駅から約4kmの概ね中間地点に位置しています。

西毛地域では、令和13(2031)年度中の全線開通を目指して前橋市、高崎市、安中市及び富岡市を結ぶ西毛広域幹線道路の整備が進行しています。西毛広域幹線道路は、新駅構想の近傍を南北に縦断する計画となっています。

新駅構想周辺は碓氷川により形成された河岸段丘の段丘面に位置しており、標高は、碓氷川左岸の既成市街地で約170m、碓氷川右岸で約160mとなっています。



新駅構想の概ねの位置



新駅構想周辺の標高分布



## 2 新駅構想周辺の概況

### ■人口と世帯数

本市の人口は減少傾向にありますが、新駅構想周辺では一貫して増加傾向にあります。また、世帯数は全市では平成 27（2015）年をピークに減少に転じていますが、新駅構想周辺では人口と同様、一貫して増加傾向にあります。

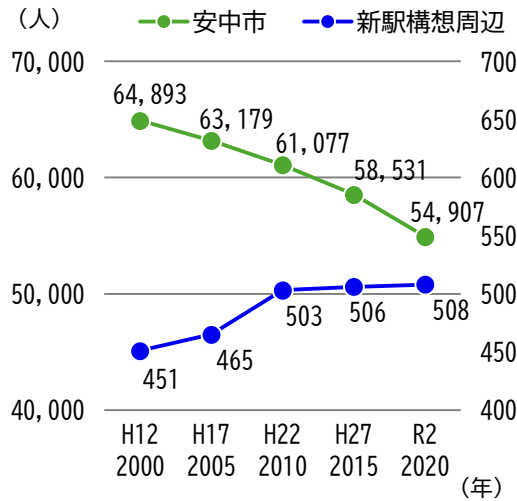


図 人口の推移

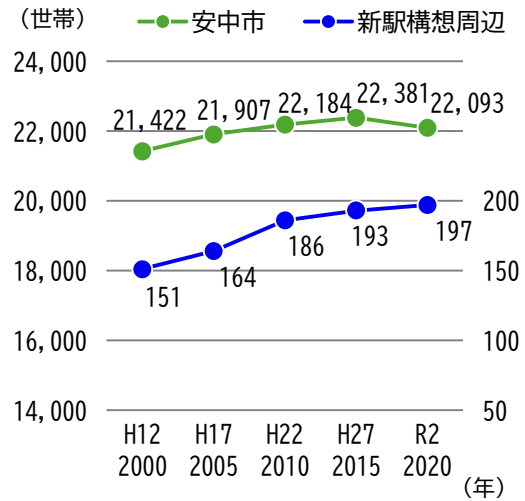


図 世帯数の推移

### ■土地利用等の状況

新駅構想周辺の土地利用は、田や畑等の自然的土地利用が大半を占めており、次いで住宅用地や道路用地等となっています。

建物利用については、住宅が最も多く、次いで業務施設となっています。

### ■公共交通の状況

新駅構想周辺における主な公共交通は、ＪＲ信越本線、路線バス及び乗合タクシーです。

路線バスは既成市街地を中心に運行されており、主要施設へは市役所(現庁舎)に５路線、県立安中総合学園高等学校前に３路線、新島学園中学校・高等学校前に２路線が運行しています。

乗合タクシーは、磯部、東横野、岩野谷、板鼻地区を中心に運行されており、その形態はデマンド形式となっています。

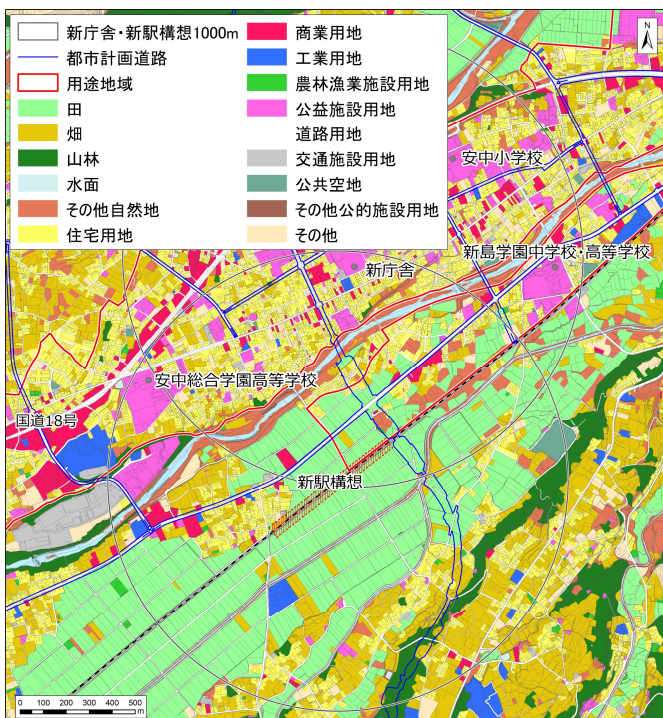


図 土地利用の現況

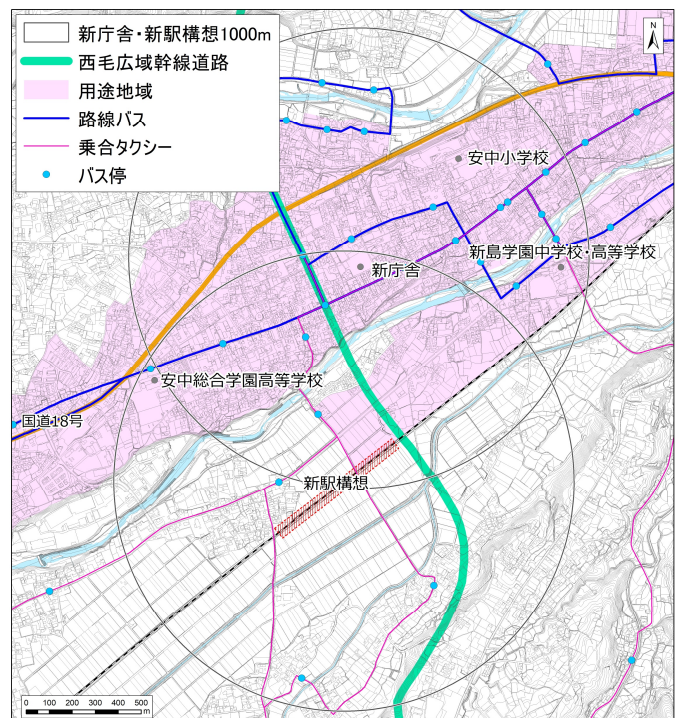
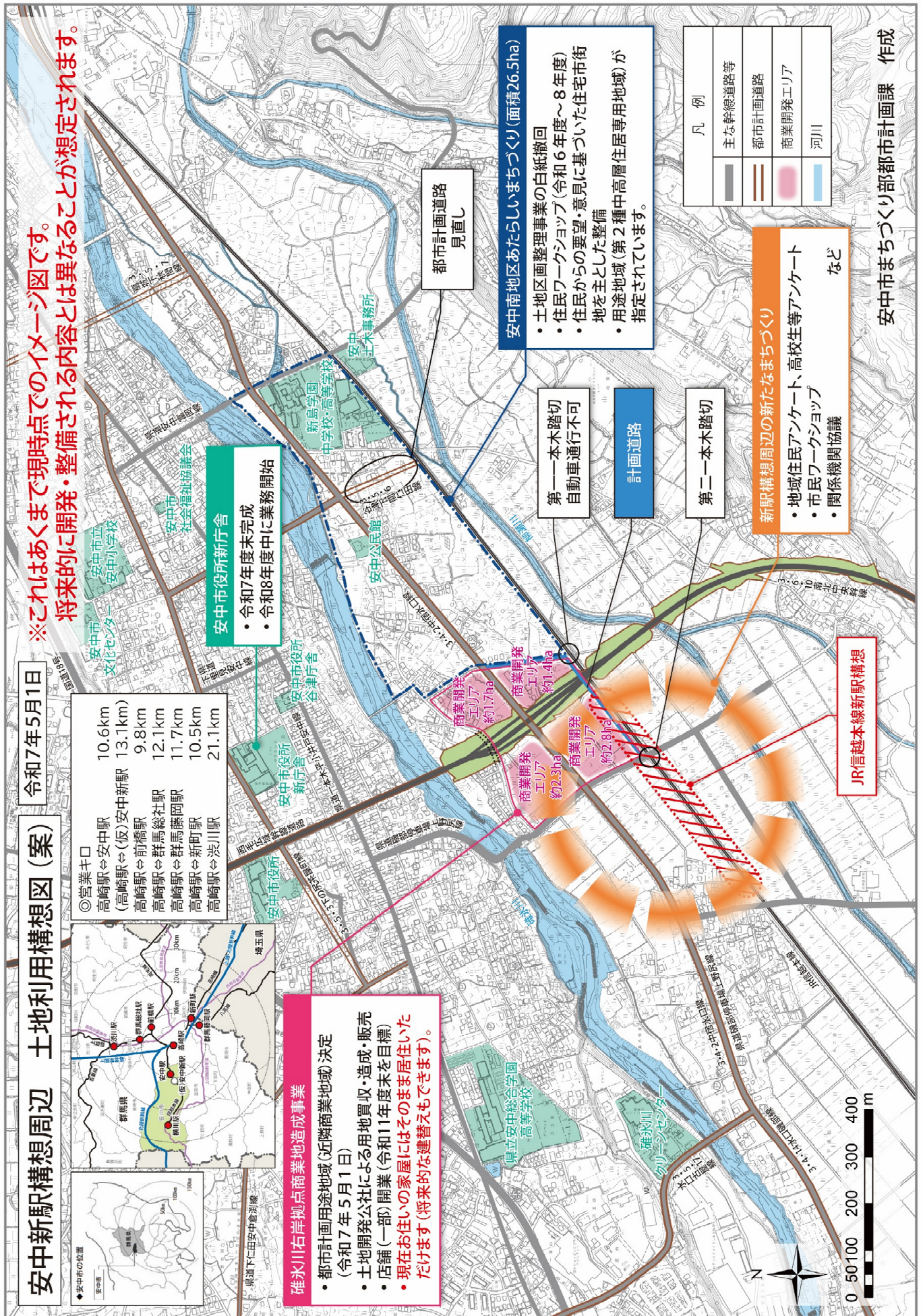


図 公共交通の状況





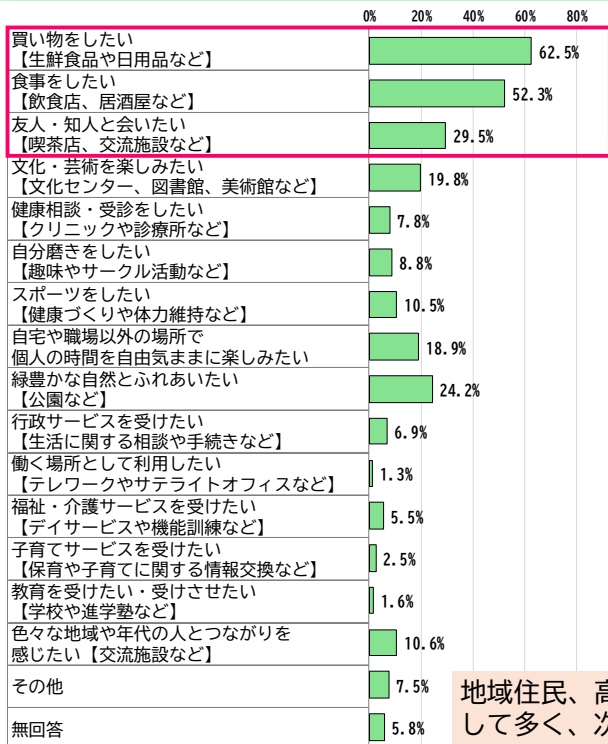


## 4 アンケート調査結果

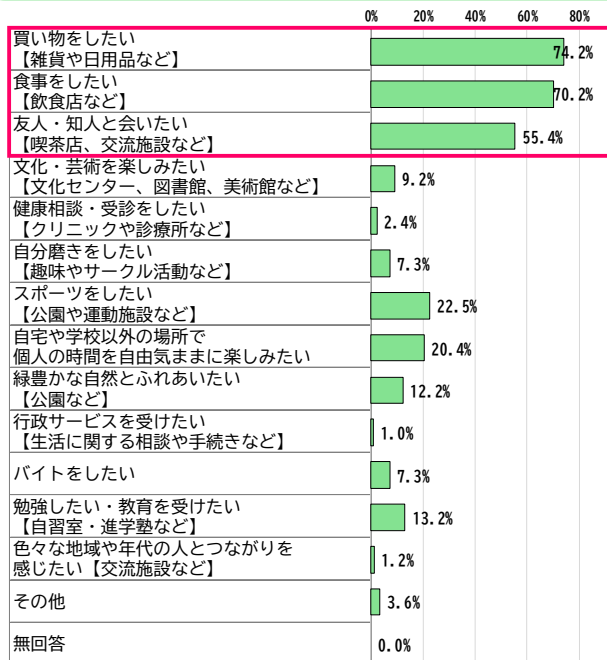
新駅構想周辺のまちづくりの検討にあたり、市民や中学生・高校生の皆さんの意見や意向を幅広くお聞きするため、アンケート調査を行いました。

### ■新駅周辺に求める機能

#### <地域住民>



#### <高校生等>



地域住民、高校生等ともに、「買い物をしたい」「食事をしたい」が突出して多く、次いで「友人・知人と会いたい」が続いています。

## 5 市民ワークショップ結果

※ワークショップとは、自由な雰囲気の中で参加者が主体的に意見やアイデアを出し合う集まりのことをいいます。

新駅構想周辺のまちづくりの検討にあたり、新駅構想周辺に必要な機能や取組について市民の皆さんの意見や意向を幅広くお聞きするため、ワークショップを開催しました。

### ■新駅周辺に必要なもの、あったらいいもの

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ○商業施設       | ○道路交通       |
| ○飲食店        | ○公共交通       |
| ○観光・地域活性化施設 | ○駐車場、駐輪場    |
| ○文化施設       | ○公園・広場等     |
| ○娯楽施設       | ○運動・アウトドア施設 |
| ○医療・福祉施設    | ○フリースペース    |
| ○子育て支援施設    |             |
| ○ビジネス・事務所等  |             |
| ○行政関連施設     |             |

など



### ■新駅周辺が「使いやすい」「過ごしやすい」「訪れやすい」まちになるために必要なこと・アイデア

- 土地利用の誘導・規制
- 生活利便機能
- 道路環境や公共交通の充実
- 新駅及び新駅との連絡・駅前空間
- 環境保全、景観形成・保全・利活用
- バリアフリー化
- 広域連携と地域性・魅力の発信

など

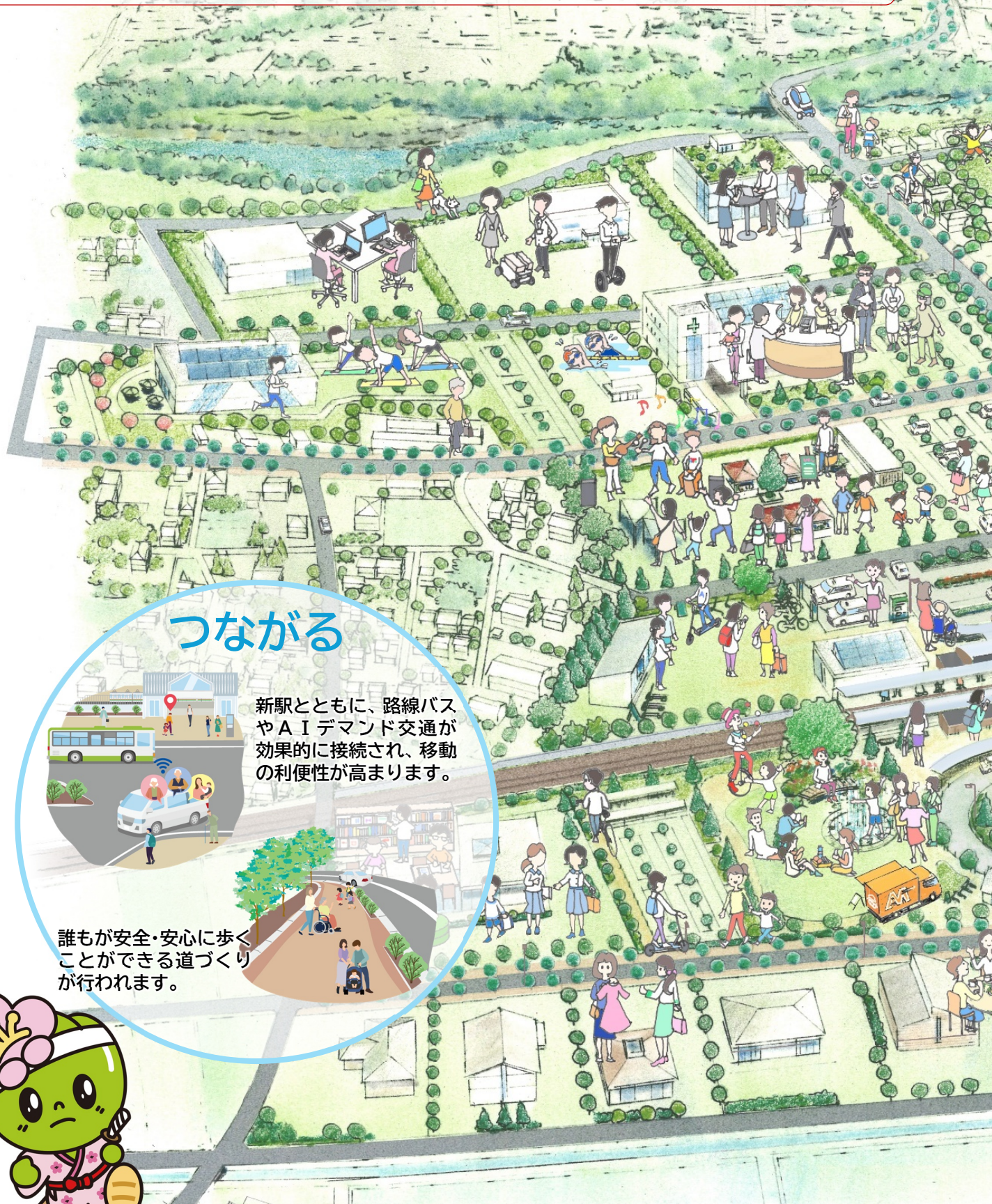




## 6 みんなが想う未来のまちづくりのイメージ（案）

アンケート調査や市民ワークショップで得られた皆さんの意向をイメージ図に表現しました。

皆さんの意向を参考に、今後具体的な検討を進めていきます。



つながる

新駅とともに、路線バス  
やA I デマンド交通が  
効果的に接続され、移動  
の利便性が高まります。

誰もが安全・安心に歩く  
ことができる道づくり  
が行われます。





## 集う

人が集まり、楽しい  
時間を過ごす商業施  
設や飲食店などがつ  
くられます。

人が集まり、思い思い  
の時間を過ごす公園  
や広場などがつくら  
れます。

## 高まる

周辺の環境や景観など  
に調和したまちなみが  
つくられます。

まちの魅力が高ま  
り、住む人や訪れる  
人が増え続けます。



## 7 まちづくりの方針（案）

### ■まちづくりのコンセプト

#### 集う・つながる・高まる あんなかの新たな駅まちづくり ～あんなかT3プロジェクト～

##### ○集う（Tsudou）【コンパクト】

⇒まちづくりによって多様な施設や機能が集まり、人も集まることを示しています。

##### ○つながる（Tsunagaru）【ネットワーク】

⇒鉄道や自家用車での移動に加え、公共交通での移動や自転車や徒歩での移動の利便性も飛躍的に高まり、いろいろなところに行きやすくなる、来やすくなることを示しています。

##### ○高まる（Takamaru）

⇒暮らす人、働く人、訪れる人、多様な人が集まり交流することで、活気・豊かさを実感しながら、生活の質やまちの価値が高まっていくことを示しています。

##### ○あんなかの新たな駅まちづくり ～あんなかT3プロジェクト～

⇒新たな駅とまちづくりを一体的に進めていくことを示しています。集う（Tsudou）、つながる（Tsunagaru）、高まる（Takamaru）ためのプロジェクトの総称を「あんなかT3プロジェクト」と表現しています。



## 8 今後の取組

### ①新駅構想の実現に向けたまちづくりの検討

○新駅構想の実現に向け、駅前広場や生活道路等の整備すべき都市基盤施設の位置・配置・規模等について検討を進めていきます。

### ②民間事業者の意向把握

○新駅構想周辺における土地利用の実現には民間事業者による開発・立地が必要であるため、進出意欲の有無など、民間事業者の意向把握を行っていきます。

### ③都市計画と農林漁業との調整

○新駅構想周辺における都市的土地利用を計画的に推進するためには、都市計画法に基づく用途地域等の地域地区の決定が必要であるため、都市計画と農林漁業との調整を行っていきます。

### ④地域住民の皆さんの継続的な意向把握

○新駅構想周辺のまちづくりは、行政や民間事業者のみならず、地域住民の皆さんとの協働により進めることが必要であるため、継続的に意向把握等を行っていきます。

### ⑤庁内・庁外組織における協議・調整

○庁内・庁外組織による専門的な見地からの協議・調整を図っていきます。

お問い合わせは  
こちらまで

安中市役所 まちづくり部 都市計画課 交通政策係

○電話番号：027-382-1111（内線1222）

○Eメール：toshikeikaku@city.annaka.lg.jp

令和7（2025）年6月 発行

